
力学的環境による骨形成制御のメカニズム解明

14571374

平成14年度～16年度科学研究費助成金 (基盤(C)(2)) 研究成果報告書

滋賀医科大学附属図書館



2004011482

平成17年6月2日

研究代表者 今井晋二
(滋賀医科大学医学部助教授)

研究組織

研究代表者 : 今井晋二 (滋賀医科大学医学部助教授)
研究分担者 : 松末吉隆 (滋賀医科大学医学部教授)
(研究協力者 : 久保充彦、菊地克久)

(金額単位：千円)

	直接経費	間接経費	合計
平成14年度	1,200		1,200
平成15年度	1,400		1,400
平成16年度	600		600
総計	3,200		3,200

研究発表

(1) 学会誌等

Imai S, Matsusue Y. Neuronal Regulation of Bone Metabolism and Anabolism –Calcitonin gene-related peptide-, Substance P- and Tyrosine Hydroxylase-containing nerves and the bone. *Microsc Res Technique*. 58: 61-69, 2002.

Kubo M, Takase T, Matsusue Y, Rauvala H, Imai S. Articular cartilage degeneration and de-differentiation of chondrocytes by the systemic administration of retinyl acetate –ectopic production of osteoblast stimulating factor-1 by chondrocytes in mice. *Osteoarthritis Cartilage*. 10: 968-976, 2002.

Omura k, Hukuda S, Katsuura K, Saruhashi Y, Imanaka T, Imai S. Evaluation of posterior long fusion versus conservative treatment for the progressive rheumatoid cervical spine. *Spine*. 27, 1336-1345, 2002.

Imai S, Matsusue Y. Recurrent Solitary Sarcoidosis in Bone. *Acta Orthop Scand*. 74: 626-628, 2003.

Imai S, Kubo M, Andou K, Kikuchi K, Matsusue Y. Transition from Diffuse Cellular Infiltration to Extensive Nodular Granuloma as a Manifestation of Isolated Sarcoidosis in the Hand. *J Hand Surg*. 28A: 439-442, 2003.

Imai S, Kikuchi K, Hori K, Kubo M, Matsusue Y. Digital Pacinian Corpuscle Hyperplasia-A Case report and Review of Literature- *Journal of the American Society for Surgery of the Hand*. 3: 175-178, 2003

Imai S, Kubo S, Kikuchi K, Ueba H, Matsusue Y. Spontaneous Rupture of the Flexor Digitorum Profundus and Sublimus of the Index finger and the Flexor Pollicis Longus Without Labor-associated Tendon Loading. *J Hand Surg*. 29A: 587-590, 2004.

今井晋二、菊地克久、猿橋康雄、高橋忍、松末吉隆. 骨粗鬆症性脊椎骨折後偽関節に対する経椎弓根的椎体形成術の後湾変形についての検討. *中部整災誌*. 47: 11175-1176、

2004.

Imai S, Kikuchi K, Matsusue Y. Posttraumatic Recurrent Dislocation of Extensor Pollicis Brevis Tendon over the Metacarpophalangeal Joint. J Hand Surg. 30A: 147-150, 2005.

Imai S. Nociceptive pathway and pathology of low back pain. Current Rheumatology Reviews. 1: 167-176, 2005.

今井晋二、菊地克久、田中政信、高橋忍、松末吉隆. 骨粗鬆症性脊椎骨折に対する椎体形成術における椎体整復度の検討. 中部整災誌. 48 : 49-50、2005

(2) 口頭発表等

西澤和也、菊地克久、堀克弘、今井晋二、松末吉隆. 神経因性食思不振症の女性に合併し、手術を要した手指巨大痛風結節の1例. 第382回 整形外科集談会京阪神地方会. 2002.

高田政彦、村田喜代史、菊地克久、今井晋二、大谷隆彦、南郷脩史. マルチスライス CT の画像データを用いたヒト腰椎インビボ3次元骨梁構造解析-再現性の検討-. 第22回日本骨形態計測学会. 2002.

菊地克久、今井晋二、高田政彦、松末吉隆. マイクロCTを用いたヒト腰椎3次元骨梁構造解析. 第29回日本臨床バイオメカニクス学会. 2002.

高田政彦、村田喜代史、菊地克久、今井晋二、南郷脩史. マルチスライスCTの画像データを用いたヒト腰椎インビボ3次元骨梁構造解析-インビボにおける再現性の検討-. 第4回日本骨粗鬆症学会. 2002.

高橋忍、勝浦章知、猿橋康雄、今井晋二、松末吉隆. 腰椎骨切りによる後弯・側弯矯正固定術. 第99回 中部日本整形外科災害外科学会. 2002.

今井晋二、菊地克久、松末吉隆. Heparin-binding Growth-Associated Molecule 遺伝子欠損マウスは力学的刺激による骨成長促進に反応しない. 第17回 日本整形外科学会基礎学術集会. 2002.

今井晋二、菊地克久、松末吉隆. 当科での骨粗鬆症診療の試み. 第22回 滋賀県整形外科医会学術集会. 2002.

今井晋二、菊地克久、猿橋康雄、勝浦章知、高橋忍、松末吉隆. 骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折に対する鏡視下経皮椎体形成術の試み. 第8回 日本最小侵襲整形外科研究会. 2002.

今井晋二、塩路傑、上羽宏明、安藤厚生、松末吉隆. 経皮的心肺補助法後の広範囲下肢筋肉壊死に対し鏡視下デブリードマンを試みた一例. 第9回日本最小侵襲整形外科学会. 2003.

今井晋二、久保充彦、松末吉隆. 手指に比較的限局したサルコイドーシスの2例. 第101回 中部日本整形外科災害外科学会. 2003.

川崎拓、今井晋二、牛山敏夫、松末吉隆. 注射器を用いた減圧法による抗生剤含浸ハイドロキシアパタイトの徐放効果. 第18回 日本整形外科学会基礎学術集会. 2003.

菊地克久、今井晋二、高田政彦、松末吉隆. マルチスライスCTの画像データを用いたヒト腰椎三次元骨梁構造解析. 第76回 日本整形外科学会学術集会. 2003.

川崎拓、今井晋二、今中徹、久保充彦、松末吉隆. 化膿性骨髄炎に対する抗生剤含浸ハイドロキシアパタイトの使用経験. 第100回 中部日本整形外科災害外科学会. 2003.

久保充彦、松末吉隆、今井晋二. 遠位橈尺関節の骨棘によって生じた小指深指屈筋腱皮下断裂の1例. 第101回 中部日本整形外科災害外科学会. 2003.

菊地克久、今井晋二、高田政彦、松末吉隆. マルチスライス CT の画像データを用いたヒト腰椎 in vivo 三次元骨梁構造解析 -骨折リスクの評価の試み-. 第9回 近畿骨粗鬆症研究会. 2003.

高田政彦、菊地克久、今井晋二、南郷脩史、村田喜代史. マルチスライス CT の画像データを用いたヒト腰椎インビボ三次元骨梁構造解析 -横断的検討の第一報-. 第23回 日本骨形態計測学会. 2003.

高田政彦、菊地克久、今井晋二、南郷脩史、松末吉隆、村田喜代史. マルチスライス CT によるヒト腰椎インビボ三次元骨梁構造解析 -骨量との相関及び骨折者の識別能について-. 第5回日本骨粗鬆症学会. 2003.

菊地克久、今井晋二、高田政彦、松末吉隆. マルチスライス CT の画像データを用いたヒト腰椎インビボ三次元骨梁構造解析. 第102回 中部日本整形外科災害外科学会. 2004.

今井晋二、菊地克久、猿橋康雄、高橋忍、松末吉隆. 骨粗鬆症性脊椎骨折後偽関節に対する経椎弓根的椎体形成術の後彎角変化についての検討. 第102回 中部日本整形外科災害外科学会. 2004.

今井晋二、松末吉隆、高橋忍. 超音波弾性法による運動時筋肉内伝播速度の測定. 第41回 日本リハビリテーション学会. 2004.

松末吉隆、高橋忍、今井晋二. 骨軟骨移植におけるリハビリテーションの工夫. 第41回 日本リハビリテーション学会. 2004.

高橋忍、松末吉隆、今井晋二. 頸髄症における呼吸器機能障害と治療による改善. 第41回 日本リハビリテーション学会. 2004.

(3) 出版物

Kubo M, Imai S. Chondrocyte differentiation and cartilage repair. In: Recent Research Development in Cell Biology. Ed: S.G. Pandalai. Transworld Research Network. Pp. 155-175, 2004.

研究成果による工業所有権の出願・取得状況

なし